



PRESS RELEASE

令和 6 年 6 月 25 日
取手市教育委員会 生涯学習課 埋蔵文化財センター

第 53 回企画展「史実と伝説のはざま」を開催します

平将門、源頼政、大鹿城をめぐる合戦、佐倉惣五郎の伝説を取り上げます

埋蔵文化財センターでは、第 53 回企画展「史実と伝説のはざま」を、7 月 23 日（火）から 9 月 29 日（日）の会期で開催します。市内に数多く残る伝説から上記の四つを取り上げ、史実とは実証できなくても、伝説が生まれ、人びとの心をとらえ、語り継がれてきた背景を探ります。合わせて市所蔵の田中正造直筆の和歌掛け軸を特別公開します。

【第 53 回企画展】

会 場：埋蔵文化財センター展示室（吉田 383）
会 期：令和 6 年 7 月 23 日（火）から 9 月 29 日（日）まで
休館日：祝日を除く月曜日と 8 月 13 日、9 月 17 日・24 日の火曜日
時 間：午前 9 時から午後 5 時まで、入館は 4 時 30 分まで

【講演会】

演 題：『将門記』王城の地について
講 師：山路直充氏
（市立市川考古博物館学芸員）
開催日：8 月 24 日（土）



将門の愛妾桔梗御前を葬ったと伝えられている桔梗塚（米ノ井）

【歴史講座】

演 題：平将門は取手で生まれたか
講 師：センター職員
日 時：9 月 7 日（土）

講演会・歴史講座とも会場は福社会館、
時間は午後 2 時 30 分から 4 時まで、
定員 120 名（当日受付順）

【展示説明】

午前 11 時からと 2 時からの 2 回：7 月 27 日（土）、8 月 11 日（日）、9 月 22 日（日）・29 日（日）
午前 11 時からの 1 回：8 月 24 日（土）、9 月 7 日（土）

企画展と関連する行事は全て無料です。

問い合わせ先	取手市教育委員会 生涯学習課 埋蔵文化財センター 担当者：飯島 章 電話：0297-73-2010（直通）、（市役所内線 3130） E-mail：maibun@city.toride.ibaraki.jp
--------	--



展示の概要

1. 平将門

市内に残る数々の平将門の伝説から、①平将門は取手で生まれた ②将門の愛妾桔梗御前 の二つを取り上げ、伝説が生まれた背景をさぐります。

2. 源頼政

源平合戦の時代に活躍した武将源頼政にまつわる資料が市内には二つあります。一つは「らいしょうさま（頼政様?）」と呼ばれ人びとから厚い信仰を受けた嘉暦2年（1327）10月の銘がある板碑（教育委員会所蔵）、もう一つは東漸寺（本郷）境内にある明治4年建立の頼政の戒名が彫られた石碑（頼政塚）です。源頼政と取手の不思議なつながりを考察します。



東漸寺(本郷)境内にある頼政塚

3. 大鹿城をめぐる合戦

現在のとりで競輪場には、大鹿城と呼ばれる中世の城がありました。大鹿城主大鹿太郎衛門と小文間城主一色宮内の合戦は、多くの人の知るところですが、同時代の確実な歴史史料である古文書や古記録からは実証できません。残されたわずかな歴史史料からうかがい知る大鹿の歴史と、今は亡き大鹿城の姿を偲びます。



蔵重一彦氏が昭和47年に作成した大鹿城の見取図

4. 佐倉惣五郎

芝居や時代劇で有名な佐倉惣五郎の直訴事件があったころ、市内の大部分の村は佐倉藩領でした。小泉村の名主半十郎は、佐倉藩領の総代の一人として惣五郎の直訴を助け、惣五郎の刑死後は罪に問われるも屋敷に東照大権現を祭っていたことから死罪を免れ、出家して諸国を行脚して惣五郎の菩提を弔ったと伝えられています。取手に残る佐倉惣五郎の伝説を紹介します。



佐倉藩の重税に対して協議する名主たち（「木内宗吾一代記」より）

特別公開 田中正造直筆の和歌掛け軸

明治時代の日本を揺るがした足尾鉍毒問題の解決に終生尽力し、帝国議会で政府を追及し、ついには明治天皇に直訴までした田中正造の直筆和歌掛け軸が、令和5年に市に寄贈されました。掛け軸には、正造が寄贈者の先祖宛に贈ったものであること記した為書きがあります。今回の企画展の開催に合わせて、寄贈後初めて公開します。